

スーパーバイザー研修カリキュラム(案)

第4回 子ども家庭福祉人材の専門性確保WG	資料2ー6
平成28年12月9日(金)	

1コマ(90分)

区分	科 目	細 目	コマ数
講義	1 子どもの権利擁護と子ども家庭福祉の現状・課題	○子どもの権利擁護 ○子ども家庭相談援助制度及び実施体制 ○社会的養護における自立支援	1
	2 スーパーヴィジョンの基本	○スーパービジョンの目的、基本 ○スーパーバイズを受ける職員のメンタルヘルス(バーンアウト等) ○スーパーバイズを受ける職員の逆転移への対応 ○児童相談所内外のチームマネジメント ○スーパーバイズを受ける職員のケースの管理	1
	3 子ども家庭支援のためのケースマネジメント	○ケースに関する情報把握のあり方 ○子ども、親、家族、地域のアセスメント ○子ども・家族とその関係性のアセスメント ○ケースマネジメント(アセスメント・プランニング)とは ○ケースの問題の見立ての方法 ○支援計画の立て方 ○子ども、保護者や関係機関などへの支援計画の説明の仕方 ○ケースの進行管理・再評価	2
	4 子どもの面接・家族面接に関する技術	○子どもの面接・家族面接(ロールプレー)	1
	5 関係機関(市区町村を含む)との連携・協働と在宅支援	○関係機関との適切な連携・協働の取り方・あり方 ○関係機関への支援計画に関する理論的な説明の必要性 ○市区町村相談援助業務と児童相談所との協働 ○要保護児童対策地域協議会と児童相談所との協働 ○関係機関との協働と在宅支援 ○多職種連携のためのコミュニケーションの取り方	1
	6 行政権限の行使と司法手続き	○司法関与に関する講義と演習 ○行政権限の行使と司法手続き ○親権停止・喪失、未成年後見人、無戸籍児童への対応、抗告、刑事告発、告訴等	1
	7 子ども虐待対応	○初期対応の演習(ケースインテイク・情報収集・イニシャルリスクアセスメント・初期対応のプランニング) ○模擬事例による性的虐待への対応(2つの事例をディスカッション) ○子ども虐待の重大な被害を受けた事例(死亡事例を含む)の検証・検討 ○子ども虐待の重大な被害を受けた事例(死亡事例を含む)検証の理解 ○親・家族への対応、親・家族への支援 ○子ども虐待の一般的知識(現状と課題を含む) ○子ども虐待対応相談援助の基本原則(基本事項) ○虐待・ネグレクトが子どもに与える心理・行動的影響 ○虐待に関連する子どもの諸問題(不登校、非行など) ○子ども虐待の発生予防 ○子ども虐待における早期発見・早期対応 ○子ども虐待における保護・支援(在宅支援・分離保護・養育(家族再統合)) ○事実や所見などに基づく虐待鑑別・判断 ○被害事実確認面接についての理解 ○通告時の危機アセスメント、初期マネジメント ○警察・検察など関係機関との連携の必要性・あり方 ○子ども虐待事例のケースマネジメント(アセスメント・プランニング) ○子ども虐待事例の心理療法(トラウマ・アタッチメントを中心に) ○特別な支援が必要な事例(代理によるミュンヒハウゼン症候群、性的虐待、医療ネグレクト)の理解 ○通告の受理、安全確認 ○調査 ○通告時の聞き取り方 ○乳児揺さぶられ症候群、虐待による頭部外傷への対応	4
演習	8 非行対応	○非行相談事例のケースマネジメント(アセスメントと支援プラン) ○非行ケースへの介入のあり方 ○警察・司法などとの連携のあり方 ○特別な支援が必要な事例(性暴力、物質依存、放火等)の理解 ○重大事案に関する一時保護のあり方 ○少年法との関係性	1

	9 社会的養護の自立支援とファミリーソーシャルワーク	○社会的養護制度 ○養子縁組制度 ○社会的養護と児童相談所などの関係機関との連携 ○移行期ケアのあり方 ○ファミリーソーシャルワークのあり方と家庭復帰支援のあり方 ○年長児童の自立支援のあり方 ○生活支援と治療的養育 ○社会的養護における権利擁護(被措置児童虐待、苦情解決、第三者評価) ○社会的養護における継続性・永続性を担保するソーシャルワークのあり方	2
	10 スーパービジョンの基本	○スーパービジョンの目的、基本 ○スーパーバイズを受ける職員のメンタルヘルス(バーンアウト等) ○スーパーバイズを受ける職員の逆転移への対応 ○児童相談所内外のチームマネジメント ○スーパーバイズを受ける職員のケースの管理	3
講義	11 子どもの発達と虐待の影響、子どもの諸問題	○子どもの成長・発達と生育環境 ○子ども虐待対応 ○非行対応 ○障害相談・支援	1
	12 ソーシャルワークとケースマネジメント	○ソーシャルワーク ○子ども家庭支援のためのケースマネジメント ○児童相談所における方針決定の課程 ○関係機関との連携・協働と在宅支援	1

合計19コマ